

山元町の取組紹介

保幼小中による懇話会の取組 P47
保幼小相互の保育・授業参観の取組 P48
山元町版スタートカリキュラム P49～

Q1 保幼小の連携・接続のためにどんなことに取り組みましたか？

山元町教育委員会では、主に次の内容に取り組みました。

- ① 「保幼小中による懇話会」の開催
- ② 保育所（または幼稚園）と小学校を会場とした「相互参観」
- ③ 幼保小連携担当者会によるスタートカリキュラムの作成



Q2 取組の成果はいかがですか？

今後の幼保小連携の充実に前向きに取り組んでいく意欲を高め、今後の活動への見通しをもつことができました。

Q3 保幼小接続期カリキュラムの作成に、いつから取り組んでいますか？

令和3年度に計画を立て、令和4年度からスタートカリキュラムの作成に取り組み始めたばかりです。

Q4 誰がどのようにしてカリキュラムを作っているのですか？

町内4つの小学校からの担当で構成する「幼保小連携担当者会」を組織し、各学校の年度当初の実際の指導をもとにしながらスタートカリキュラム案を作成していきました。

その際に、「宮城県版 保幼小接続期カリキュラムの実践に向けて〈資料編〉令和4年3月改訂」と先進校の実践例を参考にさせていただきました。

無理なく少しずつできるところから作っていきたいと考えています。

Q5 活用に当たって配慮していることはどんなことですか？

今回作成した「山元町立小学校 スタートカリキュラム（案）」は、各学校で活用してみ、修正や追加など内容の検討を継続することが大切であると考えています。各学校の創意工夫により途中で変更を加えていくこともあって構いません。

初めて1年生の担任となった先生でも、見通しをもって接続期の指導に当たることができればと思います。

保幼小中による懇話会の取組

町内の保育所、幼稚園、小・中学校の所長・園長・校長が参加して、主に（１）保幼小中の連携の在り方 （２）学ぶ土台づくりのためにできること・行いたいことについての意見交換を行い、宮城県幼児教育センターから助言をいただきました。

令和3年度 みのもりプロジェクト 保・幼・小・中による懇話会 要項		
令和3年9月22日		
山元町役場 大会議室		
進行—教育総務課		
1 開会		15:00
2 開会のあいさつ	教育長	
3 出席者紹介		
4 教育総務課より		15:10
(1)「やまもとの子ども 3つの約束」について		
5 意見交換	座長 校長会長	15:15
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">話題例</p> <p>I 保・幼・小・中の連携の在り方</p> <p>II 学ぶ土台づくりのためにできること・行いたいこと</p> </div>		
(1) 各参加者より (話題例 I・IIについて) (お一人3分以内)		
つばめの杜保育所		
やまもと幼稚園		
ふじ幼稚園		
坂元小学校		
山下小学校		
山下第一小学校		
山下第二小学校		
山元中学校		
《休憩・換気》		
(2) 主な話題について (協議)		
15:55		
6 助言・指導		16:10
宮城県教育庁義務教育課 (宮城県幼児教育センター)		
幼児教育アドバイザー 様		
幼児教育推進班 主幹 (指導主事) 様		
7 閉会のあいさつ	校長会副会長	16:30



参加者の意見から

幼稚園も保育所も、小学校の教育を同じように受けられるような子どもに育てて送り出してやりたいと思っている。そのために、保幼小の連携を大切に思っている。

連携では、申し送りだけではなく入学前の子ども様子を実際に見てもらうことを重視したい。

教師間の交流や研修、子どもたちも幼稚園から小学校へ行って見せてもらうなど、そういったふれあいの場をたくさんもっていいのではと思っている。

今回の懇話会で、子どもの健やかな成長を思う願いは同じであることが分かりました。

保幼小中の連携は、これが目的ではなくて、山元町の子どもたちをこのように育てたいというビジョンをもつことが大切。話し合いながら、子どもたちのためにいい手段を考えて行ければと思う。

子どもの成長にあわせて、保幼小中それぞれの関わり方を共通理解すること、知ることが大事だろう。

保幼小相互の保育・授業参観の取組

保幼小中による懇話会で「連携を深めるためには実際に保育・授業を見合うことが大切」との意見が出されたことにより、相互参観を実施しました。
懇談は短時間でしたが、参加者からの感想等で交流をより深めることができました。

山元町幼保小連携 相互参観の実施について

1 開催日時及び参加対象

No.	会場	日時	参加対象
1	つばめの杜保育所	令和4年6月28日(火)	小学校職員・幼稚園
2	山下第二小学校	7月13日(水)	幼稚園・保育所職員

2 日程

つばめの杜保育所		山下第二小学校	
9:20	会場集合	9:05	会場集合
9:30	保育参観(45分) ～ (年長(5歳)児保育)	9:15	授業参観(45分) ～ (1～3年授業)
10:15		10:00	
10:25	懇談(40分) ①会場所から ②参加者から	10:10	懇談(40分) ①会場校から ②参加者から
11:05	終了	10:50	終了

参加者の感想から

30名のクラスと聞いてにぎやかな様子をイメージしていましたが、とても落ち着いて正しい姿勢で先生の話を聞く姿が見られ感心しました。細やかな視覚の配慮(表示等)や個別の対応など、大変勉強になりました。

イラストを加えた分かりやすい指示の出し方は小学校低学年にも必要なことだと感じました。担任の先生方の目のかけ方、声のかけ方などは、小学校でも学ぶ面が多々ありました。

年長としての小学校入学を意識した声かけがなされ、日々の保育の中で子どもたちは身に付けているのですね。活動の区切りごとに、子どもたちの発表の場があることは、発言力、達成感、物事を考える力、思考力にもつながると思います。

保育所会場

落ち着いた雰囲気ですぐに授業がすすめられていました。卒園生の成長の大きさを感じました。明るい空間の中、子どもたちがのびのびと話を聞くことが身に付いていたこと、クラスのまとまりを感じました。

どの学年もしっかり集中して取り組んでいる様子が印象的でした。明るく開放的な校舎でのびやかな雰囲気のもと、学びの環境が整い、先生方の教えを受けて、子どもたちは日々学習に向き合う力をつけて成長している、と感じました。

小学校会場

山元町版スタートカリキュラム

週案形式で、1～4週目まで作成しています。3つのカリキュラム作成の視点（生活をつなぐ・人をつなぐ・学びをつなぐ）により色分けしています。
週ごとに、その時期の配慮事項を記載しています。

山元町スタートカリキュラム 活動項目表(案)

時期	【視点1】生活をつなぐ	【視点2】人をつなぐ	【視点3】学びをつなぐ				
月	週	題材	内容	題材	内容	題材	内容
4	1	使い方を知らう	(6年生による紙芝居・絵本)	名前を書いてみよう			
	1	給食を食べよう	準備・配膳・片付けの仕方	わたしの学校		並びっこ	
	1	学校たんけん	廊下の歩き方	初めての学級		鉛筆の持ち方	
	1	学校たんけん	保健室ってどんなところ	なかよくなるゲーム		話の聞き方	
	1	学校たんけん	校庭に行こう	うたでなかよし		校歌を覚える	
	1	下校コースの確認		鬼遊び		遊具の使い方	使い方や約束の理解
	1	登下校の仕方		(こんには6年生・縦割り班顔合わせ)			
	1	着替えの仕方					
	1	持ち物の整とん					
	1	安全な生活の仕方(避難経路)					
	1	正しい手洗い					

第1週 生活をつなぐ 人をつなぐ 学びをつなぐ 小学校 1学年

主なめあて
○学校のことを知らう。
○クラスの先生や友だちとなかよくなろう。

授業日	第1日	第2日	第3日	第4日	第5日
月日	4月 日 ()	4月 日 ()	4月 日 ()	4月 日 ()	4月 日 ()
行事	入学式		縦割班顔合わせ		交通安全教室
		6年生による紙芝居・絵本、朝の準備の仕方	6年生による紙芝居・絵本、朝の準備の仕方	6年生による紙芝居・絵本	6年生による紙芝居・絵本
1	行 入学式 入学式に参加し歓迎の言葉を聞く	国 初めての学級 元気にあいさつ・自己紹介 生 使い方を知らう ランドセル・荷物のしまい方	国 元気にあいさつ 体 なかよくなるゲーム	体 着替えの仕方 音 持ち物の整とん	国 話の聞き方 音 校歌を覚える
2	学 わたしの学校 学校名、担任名、自分の座席を覚える	生 使い方を知らう 靴・傘の揃え方、トイレ・手洗い・水道	生 学校たんけん 廊下の歩き方 生 保健室ってどんなところ	体 並びっこ 音 鬼遊び	行 交通安全教室
3		体 なかよくなるゲーム・うたでなかよし	生 校庭に行こう 国 名前を書いてみよう	生 安全な生活の仕方 避難経路を覚える	体 遊具の使い方
4		学 給食を食べよう 下校コースの確認	学 登下校の仕方 学 給食を食べよう	国 鉛筆の持ち方 学 給食を食べよう	生 正しい手洗い 学 給食を食べよう
5			こんには6年生 縦割班顔合わせ		
下校時刻					

○子どもたちが安心感をもち、新しい人間関係を作っていくことができるようになることをねらいとしている。
○覚えることの詰め込みにならないよう、身体を動かしたり、表現したりする時間を取り入れている。子どもたちが「ほっとする」時間を意図的に作りたい。
○安全な生活ができるよう、安全面への配慮と自分の身を守る内容を優先している。
○6年生との関わりにより、安心感につながることを期待している。

教科等	国語	生活	算数	音楽	体育	図工	道徳	学級	児	行事	合計
時間数	2.5	4.5	0	1	4	0	0	4	0	2	18
時間数累計	2.5	4.5	0	1	4	0	0	4	0	2	18

山元町版スタートカリキュラムの作成の実際

年4回の幼保小連携担当者会で協議しながら作成に当たりました。

各小学校からは1年担任や教務主任、校長が集まり、スタートカリキュラムの作成だけでなく、各校の1年生の様子について、情報交換を行いました。

山元町幼保小連携担当者会について

令和4年4月

1 ねらい

- 幼保小接続期の教育推進のため、円滑な連携ができるようにする。
- スタートカリキュラムの町標準案を作成する。
- 幼保小接続期の教育について情報交換を行い、各学校での教育活動の充実に資する。

2 組織

- 各小学校担当者 各校1名 計4名
(会長・副会長・推進委員2)
- 担当校長
- 教育総務課担当

3 内容

- ・年間3～4回の開催
- ・スタートカリキュラムの資料収集(令和4年度)
(各校の実践のまとめとスタートカリキュラム案の作成と協議)
- ・スタートカリキュラム案の修正・検討(令和5年度)
- ・その他

4 年間計画(案)

時期	内容	備考
R4 4月	開催通知	
6月16日(木)	第1回連携担当者会 (組織・年間計画)	
9月13日(火)	第2回連携担当者会 (各校の実践例持ち寄り)	
11月29日(火)	第3回連携担当者会 (実践例のまとめ検討・協議)	
1月25日(水)	第4回連携担当者会 (実践例のまとめ・スタートカリキュラム案の作成)	

作り始めたばかりですので、今後活用しやすいものに改善を加え、内容の充実を図っていきたいと考えています。

第1回は、各校での入学当初の指導記録の提出と活動項目の書き出しを行うことを確認しました。

第2回は、持ち寄った各校の指導記録から特色ある活動項目等について話し合いました。

第2回で集まった活動項目をもとに事務局が町標準案(原案)を作成し、各小学校へ送付しました。(第2回終了後)

第3回では、小学校だけでなく町内保育所・幼稚園からも標準案(原案)への意見をもらい、修正・検討を加えました。

第4回で、スタートカリキュラム案の原稿を最終確認しました。

—幼稚園から—

「子どもたちが、幼稚園を振り返りながら小学校の生活に慣れることができるようプログラムが生まれ、子どもたちにとってよい環境が整えられていると感じました。いただいたスタートカリキュラム案を参考に、園でも取り組めそうなものを保育に組み込んでいく事で、更に小1プログラムを減少させていけるのではないかと考えました。」